令和６年度事業計画書

１．事業活動の基本方針

引き続き安心・安全を最優先に感染拡大防止策を講じつつ、幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象に、スポーツの普及振興及びスポーツ選手の育成並びに健康増進を目的とした幅広いスポーツ振興事業を実施し、活力ある生涯スポーツ社会の実現に向け貢献する。

２．公益目的事業の計画概要

（１）スポーツスクールの運営及びスポーツ選手の育成

幼児・少年少女から高齢者、初心者から上級者を対象に、スポーツの普及振興を図るとともに、スポーツを通じて健康な心身を育むことを目的に、引き続きジュニア向け９種目・成人向け７種目からなる「三菱養和スポーツスクール」を運営する。ジュニア向けスクールのうち、スイム・体操・サッカー・テニスの選手コースについては、各種目とも専門の指導陣による一貫指導のもと引き続き全国大会出場及び上位進出や世代の日本代表選手の輩出を目指す。

（２）短期教室・講習会・外部指導・セミナーの開催

広くスポーツの普及振興及び健康増進を目的に、様々な種目が体験できる短期教室をジュニア向け・成人向けにそれぞれ開催するほか、指導者（サッカー）向けの講習会、幼稚園・小学校の体育授業等でのスポーツ外部指導、スポーツ及び健康増進に関する知識の普及を企図したセミナーを開催する。

（３）競技会の開催

スポーツの普及振興、並びに日頃の練習成果、技能向上度合い検証の機会を提供することを目的に、ジュニア向けに体操・水泳、成人向けに水泳・サッカー、また女性（レディース・ガールズ）を対象としたサッカーの競技会を主催する。

（４）健康体力測定の実施

スポーツ科学の分野から健康づくりをサポートするべく、幅広い年齢層の方々を対象に健康体力測定を実施し、個々の身体状況に見合った運動実践に繋げる。

（５）スポーツ振興助成の実施

広くスポーツの普及振興に寄与することを目的に、当会と同じくスポーツ振興に携わる公益法人等が主催するジュニア向けの競技会事業、指導者育成事業に対して総額 470 万円の資金助成を行う。

３．収益事業の計画概要

三菱グループ社員・家族・ＯＢ・ＯＧ、並びに地域の方々を対象とした「三菱養和スポーツクラブ」を運営し、また、三菱グループ社員向けにグラウンド・体育館等の貸出し事業を行うほか、売店・駐車場等のスポーツ施設付帯設備の活用と併せ収益事業として実施する。

当会の認知度向上を図り、新規入会促進に取り組む。

４．公益目的事業

定款第４条第１項関係　スポーツの普及及び選手の育成並びに健康増進に関する事業

１．スクール

(1)ジュニアスクール

スクール名	事業区分	新･継	内　　容	対　　象	時　期	場　　所	計　　画	前年度計画
スイムスクール	講座 セミナー 育成	継続	幼年期からプールで水に親しみ、心肺機能等成長期の子供達の基礎体力向上を図り生涯スポーツの第一歩とし、「進級カード」を使ったきめ細やかな級項目の設定、学齢に適した指導を行う。選手･育成コースでは、ナショナル強化選手、インターナショナル強化選手輩出や国際大会への出場、全国大会での好成績を目指す。	１歳半から高校3年生 （高校3年生まで選手継続者は基準をクリアすれば大学生も可） （親子教室を含む）	通　年	巣鴨ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ （以下、巣鴨SC） 屋内プール	会員数1,714人 （親子教室を含む）	会員数1,830人 （親子教室を含む）
			【スクール一環行事】 ①スクール記録会 ②日曜日水泳教室	①スクール在籍者（幼児年中から高校3年生） ②年中から小学6年生	① 10/20 ② 5月～6月 R7/1月･2月 （期制6回）	① 巣鴨SC屋内ﾌﾟｰﾙ ② 巣鴨SC屋内ﾌﾟｰﾙ	① 200人 ② 延べ200人	① 300人 ② 延べ200人
体操スクール	講座 セミナー 育成	継続	飛び箱･鉄棒･マット運動･トランポリンの器械体操４種目の基礎中心に、リズム感、柔軟性、平衡感覚を養うことを目的とする。選手･育成コースは器械体操専門コースとなり、女子選手はエアロビクスなどの表現力向上に繋がる練習も取り入れ、全日本ジュニア体操競技大会１部出場、全日本選手権大会の出場権獲得を目指す。	１歳半から高校3年生 （親子教室を含む）	通　年	巣鴨SC器械体操場 巣鴨SC体育館	会員数933人 （親子教室を含む）	会員数954人 （親子教室を含む）
			【スクール一環行事】 ①体操演技会 ②体操演技発表会 ③日曜日体操教室	①スクール在籍者（幼児年長から小学6年生） ②スクール在籍者（幼児年中から中学3年生） ③小学1年から6年生	① 9/8 ② 10/13 ③ 5月･6月 R7/1月･2月 （期制6回）	①巣鴨SC 器械体操場 ②巣鴨SC 器械体操場 ③巣鴨SC 器械体操場	① 16人 ② 216人 ③ 144人	① 14人 ② 216人 ③ 144人
サッカースクール	講座 セミナー 育成	継続	世界中で親しまれているサッカーを発育段階に応じて一貫指導する。日々のスクール活動のほか夏休み時期にはサッカー合宿を行う等、サッカーの技術のみならず、チームワーク、スポーツマンシップ等を学ぶ。選手活動は、ユースチームが高円宮杯U-18サッカーリーグ2024プリンスリーグ関東に10年連続参戦、最上位リーグ復帰を目指す。ジュニアユースチーム、小学生チームも全国大会出場及び上位進出を狙う。	幼児年中から高校3年生	通　年	巣鴨SCグラウンド 調布グラウンド	会員数1,000人	会員数1,370人
			【スクール一環行事】 ①スクールサッカー大会 ②サッカー合宿 ③海外遠征 ④三菱養和国際交流ジュニアフットサル大会 ⑤三菱養和中学生8人制サッカー大会 ⑥三菱養和サッカーフェスティバルU-11 ⑦三菱養和チャンピオンシップU-12	①スクール在籍者（小学1年から6年生） ②スクール在籍者（小学3年から6年生） ③スクール在籍者（中学2年、高校1年生・2年生） ④当会チーム及び東京都内近郊のチーム ⑤当会チーム及び東京都内近郊のチーム ⑥当会チーム及び東京都内近郊のチーム ⑦当会チーム及び東京都内近郊のチーム	① 6/23､10/13･20､11/24､R7/3/20 ② 7月下旬、8月上旬 ③ ④ 5/26 ⑤ 7/7または7/14 ⑥ R7/2/15･16･23 ⑦ 12/7･8	① 巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ ② 未定 ③ ﾏﾚｰｼｱ ④ 巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ ⑤ 巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ ⑥ 調布ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ ⑦ 調布ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	① 延べ1,500人 （年間） ② 未定 ③ 40人 ④ 16ﾁｰﾑ･240人 ⑤ 8ﾁｰﾑ･160人 ⑥ 32ﾁｰﾑ･640人 ⑦ 12ﾁｰﾑ･240人	① 延べ1,500人 （年間） ② 未定 ③ ー　（中止） ④ 16ﾁｰﾑ･240人 ⑤ 8ﾁｰﾑ･160人 ⑥ 32ﾁｰﾑ･640人 ⑦ 12ﾁｰﾑ･240人

※各スクールの会員数は、月別の平均計画数（概数）を記載。

スクール名	事業区分	新･継	内　　容	対　　象	時　期	場　　所	計　　画	前年度計画
			⑧三菱養和サッカーフェスティバルU-13 ⑨三菱養和サッカーフェスティバルU-14 ⑩三菱養和ガールズサッカー教室	⑧当会チーム及び東京都内近郊のチーム ⑨当会チーム及び東京都内近郊のチーム ⑩スクール在籍者及び一般女子（小学3年から6年生）	⑧ 5/4～6 ⑨ 12/26～28 ⑩ 6月、12月	⑧ 調布ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ ⑨ 巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ ⑩ 調布ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	⑧ 8ﾁｰﾑ･200人 ⑨ 20ﾁｰﾑ･500人 ⑩ 40人	⑧ 8ﾁｰﾑ･200人 ⑨ 20ﾁｰﾑ･500人 ⑩ 40人
テニススクール	講座 セミナー 育成	継続	小学2年生までは小さく軽いラケットとスポンジボールを使用してボール遊びの楽しさを指導し、小学3年生からはテニスの基本的な技術とともにマナー等スポーツマンシップを指導。一般コース→ステップアップコース→選手コースの一貫指導体制とし、選手コースは全国・関東レベルの大会出場を目標とする。	幼児年長から高校3年生	通　年	巣鴨SC体育館 調布Gﾃﾆｽｺｰﾄ	会員数352人	会員数367人
			【スクール一環行事】 ①ジュニアゲーム集中練習会 ②チャレンジマッチ ③三菱養和ジュニアテニス大会	①スクール在籍者（幼児年長から中学3年生） ②スクール在籍者（幼児年長から中学3年生） ③スクール在籍者（小学6年から中学2年生）	①春4/1･2 冬12/26･27 ②10/20 ③　－　（中止）	① 巣鴨SC体育館 ② 巣鴨SC体育館 ③　－　（中止）	① 52人 ② 47人 ③　－　（中止）	① 52人 ② 47人 ③　－　（中止）
キッズダンス スクール	講座 セミナー 育成	継続	「フリースタイルダンス」「ヒップホップダンス」「チアダンス」の3クラス構成で実施。音楽に合わせてカラダを動かす(踊る)ことでリズム感を養いながら楽しく身体を動かし、子供たちの体力･健康づくりを図る。また、12月の発表会に向け仲間との協調性やコミュニケーション力を醸成する。	3歳児から中学3年生	通　年	巣鴨SC 多目的ルーム	会員数122人	会員数148人
			【スクール一環行事】 ①ボランティア活動 ②発表会 ③短期・プレキッズダンス教室	①スクール在籍者（3歳児から中学3年生） ②スクール在籍者（幼児年中から中学3年生） ③2歳半から小学1年生の親子	① 4月 ② 12月 ③ 通年（土曜日）	① 菊かおる園 ② 本郷学園 2号館講堂 ③ 巣鴨SC別館 多目的ﾙｰﾑ	① 30人 ② 150人 ③ 10組	①　－　（中止） ② 150人 ③ 10組
ゴルフスクール	講座 セミナー 育成	継続	ゴルフを楽しむことをモットーに、クラブの握り方からはじまる基本的な技術とともに、ルール･マナーにも重点を置き段階をおってゴルフを学んでいく。また、ラウンドレッスンも開催し、実際のコースで練習成果を試し自然の中でゴルフの楽しさを体験する。	小学1年から高校3年生	通　年	巣鴨SCｺﾞﾙﾌ練習場	会員数29人	会員数26人
			【スクール一環行事】 ①ラウンドレッスン ②チャレンジゴルフ	①スクール在籍者（小学1年から高校3年生） ②スクール在籍者（小学1年から高校3年生）	① 12月、R7/3月 ② 10/14	① 近郊ゴルフ場 ② 巣鴨SC ｺﾞﾙﾌ練習場	① 12人 ② 6人	① 14人 ② 6人
武道スクール 剣道塾	講座 セミナー 育成	継続	剣道の基本的な技と心得を体得し、稽古を継続する強い意志、健全な精神の育成を図る。日頃の稽古の成果を発揮する場として公開演武・昇級審査会を年1回実施する。	小学1年から中学3年	通　年	巣鴨SC 武道場思斉館	会員数35人	会員数35人
			【スクール一環行事】 公開演武・昇級審査会	スクール在籍者（小学1年から中学3年生）	10/29	巣鴨SC 武道場思斉館	20人	20人

※各スクールの会員数は、月別の平均計画数（概数）を記載。

スクール名	事業区分	新･継	内　　容	対　　象	時　期	場　　所	計　　画	前年度計画
武道スクール 空手道塾	講座 セミナー 育成	継続	厳しい鍛錬を通じて強い身体を作るとともに、忍耐力･克己心･協調性･自立した精神等の養成に主眼を置く。また、日頃の鍛錬の成果を確認する機会として日本空手協会の審査基準による昇級審査会を年３回実施する。	小学1年から中学3年	通　年	巣鴨SC 武道場思斉館	会員数90人	会員数95人
			【スクール一環行事】 空手道塾昇級審査会	スクール在籍者（小学1年から中学3年生）	7/17、11/23、R7/3/20	巣鴨SC 武道場思斉館	各回50人	各回50人
武道スクール 柔道塾	講座 セミナー 育成	継続	柔道の基本の技を体得し、体力の向上と健全な精神を養う。日頃の稽古の成果を発揮する場として、千代田区柔道大会（10月講道館予定）の出場を目標とする。	小学1年から中学3年	通　年	巣鴨SC 武道場思斉館	会員数25人	会員数26人
ジュニアスクール共通行事 サマーキャンプ	講座 セミナー 育成	継続	学校の夏休み期間を利用し、親元を離れ仲間との集団生活を体験するとともに、自然の中での様々な体験活動を通じて子供達の自立成長を促す。	ジュニアスクール在籍者 （小学2年から6年生）	7/28～30	埼玉県秩父	70人	－ （中止）
日帰りレクリエーション			仲間作りや集団生活を通して社会性を身に付ける。学校環境とは異なる自然・科学を学ぶことを目的とした内容で各スクールの会員が楽しめる行事とする。	ジュニアスクール在籍者 （小学1年から6年生）	11/17	首都圏近郊	50人	45人

(2)成人スクール

スクール名	事業区分	新･継	内　　容	対　　象	時　期	場　　所	計　　画	前年度計画
スイムスクール	講座 セミナー 育成	継続	泳げない方から上級者までレベルに応じた指導の「水泳」クラスと、水の浮力を利用するため身体への負荷が少なく、水中での歩行、音楽に合わせての体操、筋力トレーニング等のエクササイズを行う高齢者の健康づくりに適した「プール歩き」クラスで構成し、幅広いニーズに応え健康維持･泳力技能向上等に寄与する。今年も9月に「練習会」を開催。	18歳以上の方(高校生を除く)	通　年	巣鴨SC屋内プール	会員数126人	会員数200人
テニススクール	講座 セミナー 育成	継続	初心者の方にはラリーができるように、一方テニス経験者には技術向上並びに試合の楽しさを体感してもらえるよう11クラス編成によるレベルに応じた幅広い指導を行い、健康増進･技術向上に寄与する。調布では特別レッスンも企画して運動の機会を提供する。	18歳以上の方(高校生を除く)	通　年	巣鴨SC体育館 調布Gﾃﾆｽｺｰﾄ	会員数470人	会員数454人
			【スクール一環行事】 ①デイキャンプ ②テーマ別レッスン	①スクール在籍者 ②スクール在籍者	① 5月、12月 ② 11/29	① 巣鴨SC体育館 ② 巣鴨SC体育館	① 108人 ② 54人	① 108人 ② 96人
卓球スクール	講座 セミナー 育成	継続	生涯スポーツとして楽しむことが出来る卓球を、初心者から上級者まで幅広いレベルに対応した指導を行い、健康増進･技術向上に寄与する。	18歳以上の方(高校生を除く)	通　年	巣鴨SC体育館	会員数49人	会員数47人
			【スクール一環行事】 ①スクール卓球大会 ②クリスマス卓球大会	①スクール在籍者 ②スクール在籍者	① 6/13 ② 12/12	巣鴨SC体育館 巣鴨SC体育館	① 35人 ② 30人	① 35人 ② 30人

※各スクールの会員数は、月別の平均計画数（概数）を記載。

スクール名	事業区分	新･継	内　　容	対　　象	時　期	場　　所	計　　画	前年度計画
のびのび運動スクール	講座 セミナー 育成	継続	高齢者への運動支援プログラムとして実施。きめ細やかな指導を行い、リズム運動･ボール運動等の様々なプログラムを通じて自分に合った運動を見付け自発的に運動量の調節ができる判断力を養い、長期的な運動実践に繋げる。	18歳以上の方(高校生を除く)	通　年	巣鴨SC 多目的ルーム	会員数27人	会員数29人
ゴルフスクール	講座 セミナー 育成	継続	生涯スポーツとして楽しく続けられるよう、基本技術のマスターに加え、定期的なテーマレッスン（バンカー、傾斜、モニター）の実施により、技術の向上も目指す。また、好評のラウンドレッスンは「レベル」「レッスンプロ」「開催日」を受講者が選べるように今期は7回計画。コースの中で日頃の練習成果を試し自然の中でゴルフの楽しさを体験する。	18歳以上の方(高校生を除く)	通　年	巣鴨SC ｺﾞﾙﾌ練習場	会員数65人	会員数69人
			【スクール一環行事】 ①ラウンドレッスン ②会員ゴルフコンペ	①スクール在籍者 ②クラブ/スクール在籍者	① 年7回 ② 10/23	① 近郊ゴルフ場 ② 近郊ゴルフ場	① 30人 ② 16人	①　－　人 ②　－　人
武道スクール 居合道塾	講座 セミナー 育成	継続	居合道とは刀を抜いて「仮想敵を斬る」武道。「形」の習得を中心に稽古を進め、心身の鍛錬と健康増進を図る。	18歳以上の方(高校生を除く)	通　年	巣鴨SC 武道場思斉館	会員数10人	会員数10人
武道スクール 合気道塾	講座 セミナー 育成	継続	お互いの習熟度に合わせて技を繰り返し、心身の練成を図る。また技量向上、精神鍛錬を目的に特別稽古（年2回）を実施し、日頃の稽古の成果を発揮する場として合気会の審査基準による昇級・昇段審査会（年3回）を実施する。	18歳以上の方(高校生を除く)	通　年	巣鴨SC 武道場思斉館	会員数25人	会員数26人

２．短期教室・講習会・外部指導

(1)短期教室

スクール名	事業区分	新･継	内　　容	対　　象	時　期	場　　所	計　　画	前年度計画
短期水泳教室	体験活動	継続	短期集中型の水泳教室を開催し、子供達に水泳に親しんでもらい、泳力向上を目指すとともに水泳の普及を図る。	幼児年中から中学3年生	春)4/1～4/4 夏Ⅰ期)7/23～26 夏Ⅱ期)8/5～8 冬)12/25～28 春)R7/3/26～29	巣鴨SC屋内ﾌﾟｰﾙ	延べ990人	延べ1,260人
短期体操教室	体験活動	継続	短期集中型の体操教室を開催。子供達に体操に親しんでもらい今後の体操競技継続への第一歩とするとともに、体操の普及を図る。	幼児年中から小学3年生	4月、12月	巣鴨SC器械体操場	延べ280人	延べ440人
短期サッカー教室	体験活動	継続	短期集中型のサッカー教室を開催し、子供達にサッカーに親しんでもらい今後のサッカー競技継続への第一歩とするとともに、サッカーの普及を図る。	小学2年生から5年生	4/2～4	巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	160人	160人
三菱養和サッカー教室	体験活動	継続	サッカーの普及･底辺拡大を目的としたサッカー教室を開催する。親子で参加できるプログラムも開催し、親子一緒になってサッカーを楽しんでもらう機会とする。	幼児年中から小学2年生（調布開催は小学4年生まで対象）	巣鴨9/23、R7/2/2 調布5/12、6/9、9/22、R7/2/11	巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ 調布ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	延べ660人	延べ660人

※各スクールの会員数は、月別の平均計画数（概数）を記載。

スクール名	事業区分	新･継	内　　容	対　　象	時　期	場　　所	計　　画	前年度計画
三菱養和ゴールキーパー教室	体験活動	継続	育成年代のゴールキーパーの技術普及と人材発掘を目的に、ゴールキーパーというポジションに特化した当会独自のクリニックを開催。女子の参加も可能。	小学4年生から6年生（男女）	5月、11月、R7/2月	巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ 調布ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	延べ135人	延べ135人
おとなのためのサッカー教室	体験活動	継続	幅広い年齢層に対するサッカー普及を目的に、成人を対象とした初心者でも参加できるサッカー教室を開催する。	18歳以上の男女（高校生を除く）	巣鴨）9～11月 調布）6月、11月	巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ 調布ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	延べ240人	延べ240人
レディースサッカー教室	体験活動	継続	初心者にはサッカーの楽しさを、経験者には更なる技術習得を目指し、女子サッカーの底辺拡大･普及振興を図る。	18歳以上の女性(高校生を除く)	4～7月、9月～11月	巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	延べ60人	延べ60人
弓道講習会	体験活動	継続	主に弓道初心者を対象に短期間で弓道を体験する機会とし、弓道の普及・振興及び健康の維持増進に繋げる。	18歳以上の方(高校生を除く)	1期)4～6月 2期)7～9月 3期)10～12月 4期)R7/1～3月	巣鴨SC 武道場思斉館	延べ100人	延べ100人

(2)講習会

スクール名	事業区分	新･継	内　　容	対　　象	時　期	場　　所	計　　画	前年度計画
三菱養和サッカー指導者講習会	講座 セミナー 育成	継続	豊島区をはじめ地域の少年サッカーに携わる指導者のレベルアップを図ることを目的に当会独自の指導者向け講習会を開催し、当会が培ってきた指導理論･技術を伝えサッカー競技の普及振興を図る。	サッカー指導者	R7/3月	巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	40人	40人
公認キッズリーダー養成講習会 （協働事業）	講座 セミナー 育成	継続	地域のサッカー指導者および幼児から小学校低学年の子供を持つ父母を対象に、日本サッカー協会公認の指導者養成講習会を開催し、当会職員が講師（公認指導者）となり、サッカー競技の普及振興を図る。	サッカー指導者	12･R7/1月	巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	60人	50人
公認Ｄ級コーチ養成講習会 （協働事業）	講座 セミナー 育成	継続	地域のサッカー指導者を対象に、日本サッカー協会公認の指導者養成講習会を開催。当会職員が講師（公認指導者）となり、グラスルーツで活動する指導者を育成しサッカー競技の普及振興に寄与する。	サッカー指導者	11～R7/3月	巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	45人	45人
公認Ｃ級コーチ養成講習会 （協働事業）	講座 セミナー 育成	継続	地域のサッカー指導者を対象に、U-12年代の指導にフォーカスしたカリキュラム構成で日本サッカー協会公認の指導者養成講習会を開催。当会職員が講師（公認指導者）となり、公的資格を持つ指導者を養成することでサッカー競技の普及振興に寄与する。	サッカー指導者	R7/2･3月	巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ 調布ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ他	24人	24人
公認Ｂ級コーチ養成講習会 （協働事業）	講座 セミナー 育成	継続	地域のサッカー指導者を対象に、U-12年代の指導にフォーカスしたカ地域のサッカー指導者（公認Ｃ級コーチライセンス保有者）を対象に、ユース年代の指導にフォーカスしたカリキュラム構成で日本サッカー協会公認の指導者養成講習会を開催。当会職員が講師（公認指導者）となり、公的資格を持つ指導者を養成することでサッカー競技の普及振興に寄与する。	サッカー指導者	5･6月、10･11月	巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	24人	24人

(3)外部指導

スクール名	事業区分	新･継	内　　容	対　　象	時　期	場　　所	計　　画	前年度計画
小学生への水泳指導	講座 セミナー 育成	継続	近隣小学校の体育授業に協力し、当会施設で水泳指導を実施する。児童個々のレベルに応じた泳力別の指導を行い、水泳の普及振興を図るべく実施している。	東京都豊島区内の小学生	ー　（中止）	ー　（中止）	ー　（中止）	180人

※各スクールの会員数は、月別の平均計画数（概数）を記載。

スクール名	事業区分	新・継	内　　容	対　　象	時　期	場　　所	計　　画	前年度計画
小学生への体操指導	講座 セミナー 育成	継続	近隣小学校の体育授業に協力し、当会施設で体操指導を実施する。学校にはない体操競技専用の施設を使って器械体操種目(鉄棒・マット運動等)の指導を行い、器械体操の普及振興を図る。	東京都豊島区内の小学生	1/30	巣鴨SC 器械体操場	180人	180人
小学生へのサッカー指導	講座 セミナー 育成	継続	近隣小学校の体育授業に協力し、当会施設でサッカー指導を実施し、サッカーの普及振興を図る。	東京都豊島区内の小学生	R7/1～3月	巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	190人	190人
幼児へのサッカー指導	講座 セミナー 育成	継続	サッカーの底辺拡大および運動の楽しさを体験してもらうことを目的に、東京都サッカー協会との共催で「ＴＦＡ(東京都サッカー協会)幼稚園巡回指導」を実施する。	東京都内の幼稚園・保育園児	通年	東京都内 幼稚園・保育園	1,000人	1,000人

(4)セミナー

スクール名	事業区分	新・継	内　　容	対　　象	時　期	場　　所	計　　画	前年度計画
こころとからだの健康セミナー	展示会 ショー	継続	「運動」「健康」に関するテーマを中心としたセミナーを開催。運動実践が身体へもたらす効果を基礎から実践まで幅広く捉え、スポーツを通じた健康に関する知識を習得し実践に繋げることにより、心身両面にわたる健康の維持増進を図る。	18歳以上の方(高校生以上)	上期1回 下期1回	巣鴨SC	延べ150人	延べ150人

３．競技会

スクール名	事業区分	新・継	内　　容	対　　象	時　期	場　　所	計　　画	前年度計画
第39回三菱養和体操競技大会	競技会	継続	ジュニア世代の体操の技術向上と普及振興を目的に競技会を開催し、日頃の練習の成果を発揮する機会とし、併せてクラブ・選手間の交流を図る。	小学1年から中学3年生（都内近郊体操クラブ所属）	11/3・4	巣鴨SC体育館	25ﾁｰﾑ・270人	25ﾁｰﾑ・270人
第28回三菱養和スプリント水泳競技大会＜東京都水泳協会公認大会＞	競技会	継続	Ａ級からＢＣ級までの幅広い競技レベルの選手が参加できる長水路(50m)大会を開催。特に長水路プールでの競技会出場経験が少ない選手にとって貴重な活躍の場とする。	日本水泳連盟登録団体所属の個人登録者	6/9	巣鴨SC屋内ﾌﾟｰﾙ	22ﾁｰﾑ・600人	22ﾁｰﾑ・600人
第39回三菱養和マスターズ水泳競技大会	競技会	継続	25歳以上を対象とした年齢区分別水泳競技大会を開催。日頃の練習の成果を発揮する機会とするとともに、生涯スポーツとして水泳を楽しみ継続する一つの目標にしてもらう。	25歳以上の方（都内近郊スイミングクラブ所属）	12/8	巣鴨SC屋内ﾌﾟｰﾙ	45ﾁｰﾑ・850人	45ﾁｰﾑ・850人
第92回、93回三菱養和ミニサッカーリーグ	競技会	継続	平日(水曜日)夜にフットサル愛好者が集まり32チームによる8チーム4部制のリーグ戦を開催し、生涯スポーツとしてフットサルを楽しむ競技会を開催する。	成人フットサルチーム	第92回)4～7月 第93回)11～R7/3月	巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	登録（各回） 32ﾁｰﾑ・700人	登録（各回） 32ﾁｰﾑ・700人
三菱養和レディース＆ガールズサッカー大会	競技会	継続	女子サッカー競技者の技術向上と普及振興を目的に、小学生対象のガールズクラス（6人制）と中学生以上の一般女性を対象としたレディースクラス（6人制）による競技会を東京都サッカー協会と共催する。	小学生女子及び中学生以上の一般女性	11/3	巣鴨SCｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	32ﾁｰﾑ・160人	32ﾁｰﾑ・160人

※各スクールの会員数は、月別の平均計画数（概数）を記載。

４．健康体力測定								
スクール名	事業区分	新･継	内　　容	対　　象	時　期	場　　所	計　　画	前年度計画
健康体力測定	調査 資料 収集	継続	個々の身体状況に見合った運動実践の助言並びに調査結果の公表による健康増進活動を目的として「健康体力測定」を実施。形態計測、安静時・運動時血圧測定、持久力測定、握力測定、柔軟性測定、バランス能力測定等を通じて身体状況を認識してもらい、個々に見合った運動実践の助言を行って健康づくりをサポートするとともに、蓄積された測定結果を分析し、ホームページ等を通じて情報発信することにより広く多くの方々の健康増進に寄与する。	18歳以上の方	通年	巣鴨SC 第2ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ	50人	50人

定款第４条第２項関係　スポーツ振興に関わる資金助成事業

事　業　名	事業区分	新・継	内　　容	対　　象	時　期	計　　画	前年度計画
スポーツ振興資金助成	その他	継続	当会がジュニア選手の育成事業を展開している水泳・体操・サッカー・テニスに係る、①公益法人等が主催する公益目的事業であるジュニア世代を対象とした全国大会レベルの競技会等事業、②公益法人等が主催する公益目的事業である全国規模のスポーツ指導者の育成事業に対して資金助成を行い、広くスポーツ振興に資するものとする。	スポーツ振興事業を実施する公益法人等	6月	470万円	470万円

※各スクールの会員数は、月別の平均計画数（概数）を記載。

５．収益事業

定款第５条第１項第１号関係　三菱グループ会社及びその関係会社の社員等を対象とした、スポーツ施設の運営等に関する事業

１．三菱養和スポーツクラブの運営

会員数の減少傾向に鑑み、認知度を高めて新規会員の獲得に注力する。

プログラム名	内　　容	計画利用人数	前年度計画
トレーニングルーム	年齢･体力･運動レベルに応じ、バイク･トレッドミル･ウエイト等のトレーニングマシンを使った運動プログラムを作成提供し、健康づくりに応える。 また、引き続き個人単位のパーソナルトレーニング（有料）を開催し、効果的なトレーニングを提供していく。 【主なパーソナルトレーニング】 加圧トレーニング･フィットネス＆コンディショニング・ピラティスプライベートセッション･ペアストレッチレッスン・パワープレートレッスン	延べ 96,000 人	延べ 96,000 人
スタジオプログラム	年齢や運動レベルに応じたプログラムの強度設定を細分化し、エアロビクス系･ダンス系･コンディショニング系の様々なプログラムを展開する。 また､月会費とは別料金で有料プログラムも開催し､様々なニーズに応えていく。 【有料プログラム】 ピラティスエクササイズ、エンジョイ・フラ、会社帰りのフラダンス、ヴォーカリズム、バレエストレッチ、動いてみよう、からだバーエクササイズ	延べ 44,200 人	延べ 44,200 人
体育館プログラム	複数のスポーツ種目を一人でも自由に参加でき楽しめるプログラムを日替わりで開催し､様々なスポーツを実践できる機会とするとともに健康増進に繋げる。 【実施種目】 バスケットボール・フットサル・バドミントン・ビーチボール・ショートテニス・卓球	延べ 4,560 人	延べ 4,560 人
プールプログラム	登録制の「アクアプログラム」を実施。プールで音楽に合わせて楽しく運動したり､水の抵抗を利用しての筋力トレーニング等、水の力(浮力・抵抗力等)を活用した効果的な様々なプログラムを、日替わり・週替わりメニューで展開。	ｱｸｱﾒｲﾄ 登録 87 人	ｱｸｱﾒｲﾄ 登録 100 人
サーキットプログラム	女性専用のサーキットトレーニングスタジオを運営。 油圧トレーニングマシンと有酸素運動の組み合わせ、トレーニングに馴染めない女性でも気軽に参加できる内容とする。	登録 85 人	250 人

教 室 名	内　　容	開催場所	計画人数	前年度計画
三菱水泳教室	月４回又は月に何度でも参加できる一般教室と上級者を対象としたマスターズコースを実施。個人の体力や泳力に応じた指導とする。	巣鴨 SC 屋内プール	52 人	50 人
三菱テニス教室	初心者から上級者まで、レベルに合わせたクラス編成で実施する。	巣鴨 SC 体育館	53 人	51 人
三菱ゴルフ教室	基本をマスターすることに重点を置きながら、個々のレベルに応じた分かり易いレッスンを心掛け開催。弾道測定器やスイングモニター、傾斜台などの機器を用いたレッスンを実施する。	巣鴨 SC ゴルフ練習場	48 人	47 人

２．団体利用施設の貸出し

施　設　名	内　　容
巣鴨スポーツセンター	グラウンド、体育館、会議室、多目的ルーム、武道場思斉館
調布グラウンド	グラウンド、テニスコート
戸田艇庫	艇、宿泊施設

３．ゴルフ練習場の運営

プログラム名	内　　容	計画利用人数	前年度計画
ゴルフ練習場 一般利用	個人利用のほか、ティーチングプロによる個人レッスン・グループレッスン・初心者レッスン等のプログラムを実施。 ＜利用対象＞18 歳以上の方(高校生を除く、なお個人レッスンは小学３年生から受講可。)	延べ 9,000 人	延べ 9,100 人

４．全三菱運動文化大会の事務局事務（受託事業）

三菱グループ各社の運動部・文化部が参加する「全三菱運動文化大会」企画委員会の事務局事務を受託する。

定款第５条第１項第２号関係　スポーツ施設の運営に付帯する事業

施　設　名	内　　容
巣鴨スポーツセンター	売店、会議室、駐車場、マッサージルーム、マッサージ機、 レンタルロッカー、清涼飲料自動販売機、別館地下部分賃貸（東京電力変電所）、 別館３階事務室賃貸（日本スポーツ施設協会）、思斉館駐車場賃貸（タイムズ２４駐車場）
調布グラウンド	駐車場（部分賃貸：日活）、清涼飲料自動販売機
戸田艇庫	会議室、清涼飲料自動販売機

令和6年度収支予算書(損益ベース)

6年 4月 1日から7年 3月31日まで

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計				収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
	公1 ｽﾎﾟｰﾂ振興事業	公2 スポーツ助成事業	共通	小計				
Ⅰ　一般正味財産増減の部								
1.経常増減の部								
（1）経常収益								
基本財産運用益								
基本財産受取利息	0	0	228,177,000	228,177,000	0	0	0	228,177,000
特定資産運用益								
特定資産受取利息	0	0	44,524,000	44,524,000	275,000	17,889,000	0	62,688,000
特定資産受取配当金	0	0	0	0	0	96,857,000	0	96,857,000
事業収益								
施設使用料	501,909,000	0	0	501,909,000	660,645,000	0	0	1,162,554,000
施設附属収益	0	0	0	0	36,648,000	0	0	36,648,000
行事収益	101,187,000	0	0	101,187,000	4,819,000	0	0	106,006,000
その他事業収益	355,000	0	0	355,000	18,780,000	0	0	19,135,000
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益								
受取利息	0	0	1,000	1,000	4,000	2,000	0	7,000
雑収益	3,525,000	0	0	3,525,000	874,000	0	0	4,399,000
経常収益計	606,976,000	0	272,702,000	879,678,000	722,045,000	114,748,000	0	1,716,471,000
（2）経常費用								
事業費								
役員報酬	8,319,840	91,447	0	8,411,287	3,805,106	0	0	12,216,393
給料手当	198,089,596	459,280	0	198,548,876	94,597,595	0	0	293,146,472
雑給	9,565,702	0	0	9,565,702	881,298	0	0	10,447,000
福利厚生費	40,173,438	91,636	0	40,265,074	19,283,615	0	0	59,548,689
通勤費	6,552,584	7,928	0	6,560,511	2,126,188	0	0	8,686,699
賞与引当金繰入	21,763,445	36,721	0	21,800,166	10,314,994	0	0	32,115,160
役員退職慰労費	0	0	0	0	0	0	0	0
役員退職慰労引当金繰入	1,375,427	15,118	0	1,390,545	629,056	0	0	2,019,600
退職給付費用	11,381,126	17,509	0	11,398,635	5,194,261	0	0	16,592,896
什器備品費	7,778,958	155	0	7,779,113	4,447,372	0	0	12,226,485
消耗品費	19,264,228	393	0	19,264,621	9,447,724	0	0	28,712,345
賃借料	19,279,072	722	0	19,279,795	13,396,541	0	0	32,676,336
清掃費	6,584,718	210	0	6,584,929	4,360,915	0	0	10,945,844
修繕費	77,516,640	2,665	0	77,519,305	59,447,315	0	0	136,966,620
保険料	8,605,519	101	0	8,605,620	3,945,186	0	0	12,550,806
水道光熱費	87,646,452	3,096	0	87,649,549	64,500,579	0	0	152,150,128
公租公課	95,262,453	5,174	0	95,267,628	78,818,849	0	0	174,086,477
旅費交通費	1,753,302	150,011	0	1,903,314	220,278	0	0	2,123,592
行事費	106,748,000	0	0	106,748,000	3,113,000	0	0	109,861,000
交際費	367,986	5	0	367,991	90,931	0	0	458,922
通信費	3,888,396	125	0	3,888,520	3,384,290	0	0	7,272,811
広告宣伝費	2,519,967	33	0	2,520,000	4,109,998	0	0	6,629,999
図書新聞費	151,691	3	0	151,693	85,697	0	0	237,390
会議費	14,349	0	0	14,350	185,585	0	0	199,935
雑費	9,965,317	304	0	9,965,621	5,986,476	0	0	15,952,097
業務委託料	313,330,984	3,296	0	313,334,280	163,094,780	0	0	476,429,060
支払助成金	0	4,700,000	0	4,700,000	0	0	0	4,700,000
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	76,798,355	8,728	0	76,807,083	84,817,652	0	0	161,624,735
管理費								
役員報酬	0	0	0	0	0	891,607	0	891,607
給料手当	0	0	0	0	0	5,698,528	0	5,698,528
雑給	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	1,141,311	0	1,141,311
通勤費	0	0	0	0	0	108,301	0	108,301
賞与引当金繰入	0	0	0	0	0	507,840	0	507,840
役員退職慰労費	0	0	0	0	0	0	0	0
役員退職慰労引当金繰入	0	0	0	0	0	147,400	0	147,400
退職給付費用	0	0	0	0	0	239,104	0	239,104
什器備品費	0	0	0	0	0	32,515	0	32,515
消耗品費	0	0	0	0	0	82,655	0	82,655
賃借料	0	0	0	0	0	151,664	0	151,664
清掃費	0	0	0	0	0	44,156	0	44,156
修繕費	0	0	0	0	0	559,380	0	559,380
保険料	0	0	0	0	0	21,194	0	21,194
水道光熱費	0	0	0	0	0	649,872	0	649,872
公租公課	0	0	0	0	0	1,096,523	0	1,096,523
旅費交通費	0	0	0	0	0	180,408	0	180,408
行事費	0	0	0	0	0	0	0	0
交際費	0	0	0	0	0	551,078	0	551,078
通信費	0	0	0	0	0	108,189	0	108,189
広告宣伝費	0	0	0	0	0	7,001	0	7,001
図書新聞費	0	0	0	0	0	610	0	610
会議費	0	0	0	0	0	498,065	0	498,065
雑費	0	0	0	0	0	124,903	0	124,903
業務委託料	0	0	0	0	0	4,241,940	0	4,241,940
助成金	0	0	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	1,843,265	0	1,843,265
経常費用計	1,134,697,546	5,594,663	0	1,140,292,209	640,285,281	18,927,510	0	1,799,505,000
評価損益等調整前当期経常増減額	−527,721,546	−5,594,663	272,702,000	−260,614,209	81,759,719	95,820,490	0	−83,034,000
基本財産評価損益等	0	0	22,304,000	22,304,000	0	0	0	22,304,000
特定資産評価損益等	0	0	2,128,000	2,128,000	−35,000	0	0	2,093,000
有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	24,432,000	24,432,000	−35,000	0	0	24,397,000
当期経常増減額	−527,721,546	−5,594,663	297,134,000	−236,182,209	81,724,719	95,820,490	0	−58,637,000
2.経常外増減の部								
（1）経常外収益								0
厚生年金基金解散益	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益振替額	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
（2）経常外費用								
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0
雑損	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	−527,721,546	−5,594,663	297,134,000	−236,182,209	81,724,719	95,820,490	0	−58,637,000
他会計振替額（収支相償**内**）	0	0	74,953,497	74,953,497	−74,953,497	0	0	0
他会計振替額（収支相償**外**）			102,591,712	102,591,712	−6,771,222	−95,820,490	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	−527,721,546	−5,594,663	474,679,209	−58,637,000	0	0	0	−58,637,000
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	120,000	0	0	120,000
税引後当期一般正味財産増減額	−527,721,546	−5,594,663	474,679,209	−58,637,000	−120,000	0	0	−58,757,000
一般正味財産期首残高	−6,171,418,370	−60,273,595	26,165,648,707	19,933,956,742	415,962,054	3,364,006,786	0	23,713,925,582
一般正味財産期末残高	−6,699,139,916	−65,868,258	26,640,327,916	19,875,319,742	415,842,054	3,364,006,786	0	23,655,168,582
Ⅱ　指定正味財産増減の部								
受取寄付金（指定）	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金（指定）	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益（指定）	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替（指定）	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	3	0	0	3
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	3	0	0	3
Ⅲ　正味財産期末残高	−6,699,139,916	−65,868,258	26,640,327,916	19,875,319,742	415,842,057	3,364,006,786	0	23,655,168,585